

官報

號外

大正八年三月二十一日 金曜日

印刷局

第四十一回 衆議院議事速記録第二十六號

大正八年三月二十日(木曜日)午後一時九分開議

議事日程 第二十五號 大正八年三月二十日

午後一時開議

第一 朝鮮輕便鐵道補助法案(政府提出)

第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
和氣神社昇格ニ關スル建議案(小橋漢三衛
君外八名提出)

第三 朝鮮及臺灣ノ產米増殖ニ關スル建議案(牧
山耕藏君外十名提出)

第四 新聞紙法改正ニ關スル建議案(松田源治君
外十二名提出)

第五 狩野川改修ニ關スル建議案(岩崎勲君外一名
提出)

第六 農業政策ニ關スル建議案(赤間嘉之吉君提出)

第七 陸軍下士卒優遇ニ關スル建議案(高田松平
君提出)

第八 北海道拓殖完成ニ關スル建議案(寺田省齋
君外二名提出)

第九 發電用水利權ノ法規制定ニ關スル建議案
(石原正太郎君外一名提出)

第十 能代ノ五所川原間鐵道建設ニ關スル建
議案(工藤卓爾君外四名提出)

第十一 延松鐵道速成ニ關スル建議案(長峰興一
君外三名提出)

第十二 山口縣德山港ヲ特別輸出入港ト爲スノ
建議案(渡邊祐策君提出)

第十三 圓山川改修ニ關スル建議案(齋藤雄次君
外一名提出)

第十四 水産講習所内ニ淡水科特設ニ關スル建
議案(西川太治郎君外五名提出)

第十五 水産業統一機關設置ニ關スル建議案
(唐端清太郎君外二名提出)

第十六 水産銀行設立ニ關スル建議案(鶴澤宇八
君外二名提出)

第十七 (特別報告第百五十四號)葉煙草耕作
段別ニ對シ補償金交付ノ請願

第十八 (特別報告第百六十三號)航空事業國
庫補助ノ請願

第十九 (特別報告第百六十三號)航空事業國
庫補助ノ請願

第二十 (特別報告第百六十四號)大任村ニ郵
便局設置ノ請願

第二十一 (特別報告第百六十五號)皆瀬郵便
局ニ集配並電信事務開始ノ請願

第二十二 (特別報告第百六十六號)濱田郵便
局ニ電信事務開始ノ請願

第二十三 (特別報告第百六十七號)枝幸村字
音標ニ郵便局新設ノ請願

第二十四 (特別報告第百六十八號)吉城郡ヘ
配達スル小包郵便物遞送線路變更
ノ請願

第二十五 (特別報告第百六十九號)坂上郵便
局ト幸野郵便局トノ間ニ遞送開始ノ
請願

第二十六 (特別報告第百七十號)日本海橫斷
航路ヲ七尾港ニ延長ノ請願

第二十七 (特別報告第百七十一號)茅沼ニ無
集配郵便局設置ノ請願(委員長報告)

第二十八 (特別報告第百七十二號)東國分郵
便局ニ集配事務開始ノ請願

第二十九 (特別報告第百七十三號)中和郵便
局ニ集配事務開始ノ請願

第三十 (特別報告第百七十四號)大崎村字
大崎ニ郵便局設置ノ請願

第三十一 (特別報告第百七十五號)東太良郵
便局ニ集配事務開始ノ請願

第三十二 (特別報告第百七十六號)山崎郵便
局ニ集配事務取扱開始ノ請願

第三十三 (特別報告第百七十七號)木下郵便
局ニ特設電話設置ノ請願

第三十四 (特別報告第百七十八號)田平村ニ
無集配郵便局設置ノ請願

第三十五 (特別報告第百七十九號)膝折村ニ
郵便局設置ノ請願

第三十六 (特別報告第百八十五號)鶴川村ニ
登記所設置ノ請願

第三十七 (特別報告第百八十六號)人舞村字
清水ニ登記所設置ノ請願

第三十八 (特別報告第百八十七號)日野春村ニ
登記所設置ノ請願

第三十九 (特別報告第百八十八號)喜連川町
外二箇村ヲ字都宮區裁判所管轄ニ變
更ノ請願

第四十 (特別報告第百八十九號)大野村大
字黑野ニ登記所設置ノ請願

第四十一 (特別報告第百九十號)八束、川上、
中和三村中ニ區裁判所出張所設置
ノ請願

第四十二 (特別報告第百九十一號)盲啞教育
令發布ノ請願外一件

第四十三 (特別報告第百九十二號)公立盲啞
學校設置ノ請願外十九件

第四十四 (特別報告第百九十三號)三陸沿岸
鐵道敷設ノ請願外三件

第四十五 (特別報告第百九十四號)八戸、久慈
間輕便鐵道延長ノ請願

第四十六 (特別報告第百九十五號)天鹽線速
成ノ請願

第四十七 (特別報告第百九十七號)弘前田代
間輕便鐵道速成ノ請願

第四十八 (特別報告第百九十八號)天鹽線速
成ノ請願

○議長(大岡育造君) 諸般ノ報告ガアリマス
(原田書記官朗讀)
一昨十九日政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
朝鮮輕便鐵道補助法案
一今二十日政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案
一去十八日議員ヨリ提出シタル議案左ノ如シ
農業政策ニ關スル建議案
提出者 赤間嘉之吉君
陸軍下士卒優遇ニ關スル建議案
提出者 高田 松平君

シテ前田米藏君ヲ、明治三十四年法律第三十號

シコトヲ希望致シマス、日程……

是等二就キマシテ、漸次眞面目分チテ實用ヲ效シタリ。思

—

フノデアリマス、先づ第一ニ人種待遇問題デアリマス、第一國際聯盟上人種ノ待遇ニ關シ、政府ハ如何ナル種類ノ提議ヲ爲セリヤ、此事實如何、第二ニ政府ハ一旦提議セント決心シタル以上ハ、飽マデモ是ガ貫徹ヲ期スルノ確信アリヤ、第三ニ右提議ニ先タテ、政府ハ英米兩國ノ如キ特殊ノ關係アル政府ト、豫メ隔意ナキ協議ヲ遂ゲテ、遺憾ナキ豫備行動ヲ取リシヤ否ヤ、人種待遇問題ニ就キマシテハ、政府ハ此內閣ヲ組織セラレテ以來、一定ノ案ガ無カクヤデアリマス、唯、國論ガ此問題ニ就キマシテ驕然トシテ起ルニ會ヒ、忽チ此國論ニ順應センガ爲メニ、何等カノ案ヲ講ゼラレタヤデアリマス、尤モ國際聯盟案ガ成立スル以上ハ、日本人ガ世界ニ於ケル聯合國トシテ、五大強國ノ中ニ入テ居ルハ、又一定ノ文化ノ程度ノ進シテ、國民大強國ノ此者ガ他ノ四大強國ノ國民ト同一ノ特權ヲ有シ、待遇ヲ受ケルニ致ルコトヲ望ムハ、國民一般ガ非常ニ期待シ居ル點デアリマス、殊ニ今日政府側デ頻リニ申サレ所ニ依リマス、人種差別撤廢ノ議ヲ提唱シテ、其主張ヲ貫徹セントスル志ガアルサウデアアル、或ハ又人種差別ハ申サナイガ、門戶開放ヲ主張スル考デアアル、兎ニ角政府ノ此問題ニ對セラルル名目ハ何レト致シマシテモ、何等カ茲ニ一種ノ提案ヲ爲サント云フコトヲ考ヘラレテ居ルコトハ事實デアリマス、我講和委員ノ牧野男ハ二月十三日巴里ノ電報ニ依リマス、講和全權委員ノ懇話會ノ席上ニ於テ、國際聯盟ヲ爲ス以上ハ、移民條項ニ人種ノ差別ヲ設ケルコトヲ得ナイト云フ事ヲ、規定ヲシタイト云フコトヲ述ベラレタヤデアリマス、所ガ何者モ之ニハ賛成シナクッタ云フ狀態デアリマス、事實ヲ承リマス、米國大統領「ウエルソン」ハ、主義トシテ賛成ノ意ヲ漏シタ、又英國外相「バルフォア」君ハ、此提議ハ甚ダ成立ニ困難ナルヲ説イタト云フコトデアアル、又佛國「クレマンソー」君ハ、同ジク困難ナルコトヲ説イタト云フコトデアリマス、サウシマス、此人種問題ハ何ダウナテ居ルノデアアルカ、成程政府ハ仰シヤルカモ知レヌ、牧野男ノ非公式ノ席ノ言葉デアアル、政府ハ之ニ對シテハ何モ責任ハ無イノデアアル、公式ノ會合デアリマス、斯ウ仰シヤルカモ知レマセヌガ、一體全權委員ナリ者ハ、何レニ於テ發言サレテモ、ソレハ取モ直サズ公開ノ席タルト私ノ席タルトヲ問ハズ、帝國ノ政府ヲ代表シ、國民ヲ代表シタル意義ニ歸著スルノデアリマス、然ルニ講和委員ハ、贊成者ガ無クッタカラ、之ヲ將來ニ保留スルコトヲ一語ヲ殘シテ其席ハ終ツト云フコトハ、實際如何ナル事デアアルカ、政府ハ初カラ徹底的ニ是ガ目的ヲ達スルコトヲ御考ヘ無ク、タノデアアルカ、又實際承リマス、人種差別撤廢デハナイ、門戶開放主義ヲ言フノデアアル、成程最近ノ米國ノ電報ヲ見マス、石井大使ハ人種差別撤廢ヲ主張セラレタ、併ナガラ勞働問題、或ハ移民問題トハ沒交渉ノ事デアアル、斯ウ云フ趣旨ノ御演説デアリマス、之ニ就キマシテモ、米國ニ於テハ甚ダ議論ガ多イノデアアル、又内地ニ於テハ如何デアリマス、新聞紙ノ傳フル所ニ依レバ、既ニ人種差別、此問題ニ就テハ何所マデモ門戶開放主義ニ依ル、之ヲ講和會議ノ議題ト

スルト云フ決心ヲ以テ、政府ハ十五日西園寺侯ニ電報ヲ發シテ、サウシテ協商國ト隔意ナシ交渉ヲ遂ゲル努力中デアアル、此事實ハ實際デゴザイマス、單ニ風説ニ止リマス、カ、之ヲ穿鑿スル必要ハゴザイマセヌガ、兎モ角モ政府ハ此問題ニ就テ、何等カノ解決ヲ期シタト云フ考ハアルデアアル、唯、初ニハ漫然ト移民條項ニ差別の待遇ヲ規定スルコトヲ云フコトハ、不可デアアルト云フコトヲ言テ置キナガラ、今日ハ移民條項トハ沒交渉デアアル、サウシテ門戶開放主義ノ下ニ人種待遇ヲ迫ルノデアアル、サウスルト政府ハ初カラ一定ノ考ガ無クシテ、唯、事ニ臨ンデ一ツノ説ヲ出シ、又ソレガ破レバ復タ他ノ意見ヲ出シテ居ル、講和會議ノ如キ重大ナル會議ニ於テ、斯ノ如キ輕率ナル不徹底ナル所ノ考ヲ以テ、帝國ノ主張ガ貫徹サル、ト云フ事ハ、吾モハ信ゼンコト欲シテ、信ジ得ザルモノデアリマス、一體此交渉ヲ開イテ聯盟案ヲ作ル會議ニ於テ、其一箇條ニ入レントスルナラバ、初ヨリ最モ關係ノ多イ所ノ英國或ハ米國ト隔意ナキ交渉ヲ遂ゲ、サウシテ其承諾ヲ得テ、サウシテ之ヲ會議ニ出シテ多數ノ賛成ヲ得テ、サウシテ成立スルコトヲ云フダケノ見込ガ立タナケレバナラス、政府ハ是ダケノ準備行爲ヲ手落ナクヤラレタヤデアアルカ、直グ立消ニナシマウ、サウ云フヤウナ事デアハ、連モ遺憾ナキ折衝ガアッタト云フコトハ、吾モハ見ルコトハ出來ナイモノデアアル、殊ニ此移民問題、人種問題、之ヲ提供スルニ至リマス、米國ガ反對スルト云フコトハ、是ハ年來ノ日米ノ關係上當然ノ事デアアル、千九百一十二年ノ大統領「タフト」君ノ演説ヲ見マス、移民問題ハ國內ノ問題デアアル、外國ノ折衝スベキモノデハナイ、又昨年ノ夏英帝國ノ會議ヲ見マシテモ、印度人ノ待遇ノ問題ニ就テ、植民地ハ各意見ヲ異ニシテ居ル實際デアアル、サウシテ此問題ハ解決スルコトヲ好マナイト云フ狀態デアリマス、左様ノ關係デゴザイマス、英國ニ於テモ移民問題ニ就テハ、甚ダ議論ガ多イノデアリマス、今日マデ之ヲ解決スルコトハ順序ニハナテ居ラス、殊ニ加奈太或ハ漳州ニ於ケルマシテハ、此亞細亞人ヲ排斥スルコト云フコトハ、今日マデノ是ガ重大ナル案件デアリマス、一朝ニシテ之ヲ變ヘルコトハ、餘程重大ノ理由ガ茲ニ無クシテバナラナイ、其等ノ事ハ我講和全權委員ニ於テモ、能ク御承知ナサラナケレバナラヌデアリマス、然ルニ漫然ト説ク御承知ナシテ其説ガ成立タナシ、今度ハ又手ヲ變ヘテ一ツ案ヲ出シテ見ヤ、外務當局ノ談トシテ新聞ニ載テ居ル所ヲ見マスト、當初ノ所信ヲ貫徹スルコトヲ御宣言デアリマス、果シテ貫徹スルダケノ御確信ガアルノデアアルカ、其內容ハ如何デアアルカ、之ヲ御尋シタイ、又今日マデノ經過ヲ見マス、聯合國ト十分ナル所ノ下準備ガ出來テ、承諾ヲ通ジテ居ルコト云フヤウナコトハ、吾モ遺憾ナガラ知ラナイノデアリマス、此ハ人種問題ニ對スル政府ノ確信ヲ御述ニナリタイト思フノデアリマス、又今日マデヲ見マス、政府ガ重大ナル案件ニ就テ、豫備行動ヲ執ラナクシテ出來タ例ハ無イノデアアル、サウスレバ政府ナルモノハ、唯、國民ガ議論ヲシテ

居ル、ソレヲ抑ヘンガ爲メニ出サレタト云フノデアアル、ソレデハ餘リ政府ガ無責任デハナイカ、此外國トノ交渉願末、之ヲ國民ニ明ニセラレタコトヲ望ムノデアアル、人種問題ハ理想ノ問題デアリマス、又國際上ノ今日ハ現實問題デアアル、府ハ國民ノ或ヲ解決タケル、十分ナル所ノ説明ヲセラレタレバナラナイト思フノデアリマス、又第二ニ南洋問題デアリマス、是ハ帝國海軍ガ今日占領シテ居リマス、中デ、特ニ「カロリン」群島、或ハ「マーシャル」群島、マリヤナ群島ノ始末ニ關スル問題デアリマス、第一政府ハ南洋諸島領有問題ニ就キ、大隈內閣以來ノ政策ニシテ國民ノ齊シク希望措ケ能ハザル此南洋問題ヲ、如何ニ處理センスルノデアアルカ、政府ノ講和會議ニ於ケル所見如何、第二ニ國際聯盟案ニシテ成立センカ、南洋諸島領有案ハ全然否認スルベキモノ、如シ、即チ所謂國際管理ノ下ニ、委任統治ヲ爲スニ至ラントスルモノ、如シ、政府ハ講和會議ニ於ケル其進行ノ程度ヲ國民ニ公開シ、之ヲ説明スルノ意思無キカ、此南洋ノ諸島ハ日獨開戰ノ結果「帝國」ノ占領ニ歸シタルモノデアリマス、而シテ戰後之ヲ如何ニ處分スベキカ、或ハ之ヲ獨逸ニ還附スベキカ、或ハ帝國ガ占領スベキカ、大隈內閣ノ當時ニ於テハ、赤道以北ハ帝國ノ所領ニ歸スル、以南ハ之ヲ漳州ニ渡スト云フ協定ガ出來マシテ、既ニ之ニ就キテハ、英佛兩國ニ對シテモ內諾ヲ得テ居ル實際デアリマス、寺內內閣ニ於テモ、矢張南洋諸島ノ領有ノ意思ヲ以テ外交上ノ折衝ヲ爲サレタノデアアル、然ルニ現內閣ニ於キマシテハ、青島ノ還附問題ニ就キマシテハ、議會ニ於テ聲明致サレマシタガ、南洋諸島ノ處分問題ニ就キマシテハ、何等ノ御意見ガ無イノデアアル、ソコデ國民ハ是ハ如何ナル處分ニナルノデアアルカ、甚ダ感ヲ起シテ居ルノデアリマス、近頃講和會議ノ經過ニ依リマシテ之ヲ考ヘマス、太平洋ノ諸島ハ他ノ獨逸ノ屬領地ト同ジク、委任統治ノ形式ニ依リテ統治サル、ト云フ狀況ニ陥テ居ルノデアリマス、或ハ聯合國ノ領土ト同ジキ實質ニ於テ、統治セラレ、モノモアル、或ハ又殆ド一國ノ領土ト同ジキ實質、又説ヲ爲ス者ハ、日、南洋諸島ハ總テ澳洲政府ノ統治下ニ入ルモノデアアルト云フ説モアル、又或者ハ日、南洋諸島ハ日本ノ委任統治ノ上ニ歸スルモノデアアルト云フ説モアル、講和會議ニ於キマシテ、是等ノ諸島ノ最後ノ處分案ハ、如何ナル結果ニ歸スルノデアアルカ、今日モ新聞ヲ見マス、ト、多分日本ノ主張ガ聞入レラレタヤアラウ、其間入レラレ、ノデアアラウ言ハル、コトハ、委任統治問題ノ何レニ歸スルノデアアルカ、共同ノ管理ニ歸スルノデアアルカ、或ハ日本單獨ノ委任統治ニ歸スルノデアアルカ、是等ニ就キマシテ十分ナル所ノ説明ヲ與ヘラレテ、今日マデノ經過、及將來ニ對スル所ノ抱負ヲ述ベラレタコトヲ望ムノデアリマス、第三ニ國際聯盟ト日英同盟トノ關係ニ就キマシテ、二三御尋ヲシタイト思フノデアリマス、(尾崎君ガ泣ク)ト呼フ者アリ、國際聯盟草案ニ依レバ、該規約ニ低觸スル、有ユル國際間ノ義務ヲ一切廢棄セシムルノ趣旨ナルカ如シ、政府ハ帝國外交ノ中軸タル日英同盟協約ヲ廢棄スル

トヲ言フナト呼フ者アリ。然ラバ政府ハ今一段ト此駐屯兵數ヲ減ズルノ意思ハ無イノデアアルカドウデアアルカ、又日本ノ駐屯軍ハ何時引揚ゲルノデアアルカ、是ハ中央及答辯スルコトハ困難デアリマセウ、露國ニ鞏固ナル中央政府が出来ルカシマデ、之ヲ置カナケレバナラヌカモ知ラヌ、併ナガラ何トカシテ地方ノ秩序ノ維持ガ、露國人ノ爭ニ依ツテ出來ルト云フ一ノ方法ヲ講ズルコトガ、聯合與國當面ノ急務デアラウト思フノデアアル、斯ノ如クシテ自治ノ方針ヲ與ヘタナラバ、自然騷亂ニ飽果テタ所ノ露西亞人ガ、秩序ヲ重ンズルヤウニナリマシテ、自治ノ實ガ各方面ニ起ツテ來ルデアラウ、サウシテタナラバ、鞏固ナル中央政府ヲ或ハ造ル途ガ開ケラカモ知レナイノデアリマス、今日ノ金デ買ツタル總務ニハ分ルナイト呼フ者アリ（露國ガ無政府狀態デアアル、大々鞏固ナル政府出來ナイ、而モ東部西伯利ニ於キマシテ、如何ナル事ガ最モ擾亂ノ原因ニナツテ居ルカ、之ヲ研究致シマスルト、全ク物資ノ缺乏デアル、物資ノ缺乏ハ卽チ鐵道ノ不整理デアアル鐵道ノ不整理ガ今日ノ騷亂ヲ演ジテ居ルト云フ實際デアアル、然ルガ故ニ政府ハ此方面ニ力ヲ注イデ、成程經濟的ノ援助モセラレルト云フコトデゴザイマスガ、今一段ト此方面ニ力ヲ入レテ、單ニ日本人ガ東部西伯利ニ任事スルニハ援助ヲ與ヘレ、他國ノ者ニハソレ程ノ援助ヲ與ヘナイ、サウ云フヤウナ窮屈ナル所ノ考ヲ持タズ、日本人ト露西亞人ト共ニタル事モ之ヲ助ケル、又歐米ノ資本家ト露西亞人ト共ニタル事モ之ヲ助ケル、又歐米ノ資本家ト日本人ト共ニタル事モ之ヲ助ケル、斯ノ如キ方法ヲ執ラレテ（ソレハバヤッデ居ルト）呼フ者アリ）サウシテ成ベク地方ノ自治思想ヲ

日本ト關係アルガ故ニ政府ガ此問題ニ就キ列強ト協調ヲ保チ友誼の警告ヲ發シテ南北妥協上ノ障礙物ヲ除却シ以テ支那ノ和平統一ヲ促進セシムルノ意思ナキカ。寺内閣ハ段祺瑞一派ヲ擁護致シテ、長月日ノ間支那ノ政界内ヲ繼續セシメタ、寺内閣ニ更ヘラレタ所ノ現内閣ハ、其失敗ノ成績ニ鑑ミマシテ、援段政策ヲ拋棄セラレ、借款政策ニ就テモ、又一ノ新シキ政策ヲ執ラレタノデアル、是ハ吾々同志ガ年來ノ主張デアリマシテ、此議會ニ於キマシテモ、或ハ豫算委員會ニ於キマシテモ、長ラク唱ヘタ説デアル、之ヲ現内閣ガ御用井ニナシタ、甚タ吾々ノ贊成スル所デアル、併シ今日マデノ結果ハ如何デアル、其政府ノ聲明セラレタル政策ト、其結果ハ全く矛盾致シテ居ルノデアリマス、所謂政策ガ徹底の行ハレテ居ラナイ、其事實ノ一ツヲ申上ゲマスルト、借款打切ヲ政府ニ於テ聲明サレタガ、昨年十一月十二月ニ至デモ、矢張六百七十七万圓程ノ金額ヲ特殊銀行ヲシテ提供セシメラレテ居ル、又兵器ノ供給ハ如何デアル、二月十一日ニモ到着シテ居ル、又本月一杯ハ何所マデモ送ルト云フデハナイカ、又參戰軍ヲ編成スル、三個師團ヲ編成スルノニ日本ノ將校ヲヤデテ居ル、日本ノ將校ハ依然トシテ今日參戰軍ノ編成ニ努力致シテ居ル狀況デアル、所謂口ハ又援段政策、支那の和平ノ統一ヲ望ムト言ハレテ居リマスガ、又一面ニ友誼的ノ援助ハ與ヘル、忠告ハスル、併シ内政干涉ハシナイ、今日此南北妥協會議ニ於テ、如何ナルモノガ問題トナッテ居ルカ、初メハ陝西問題デアル、陝西ト福建省ノ問題、外交上ニ於キマシテハ此參戰軍ノ始末テアル、陝西福建ノ問題ハドウデアルカト云フ、福建省ノ問題ハ解決ハ致シタガ、

ル、此會期切迫ノ場合ニ於キマシテ、喋々ト此處ニ述ブルノハ、然リ「簡單々々」ト呼フ者アリ、甚ダ吾々ノ好マナシ所デアリ、サルガ故ニ私ハ此問題ニ就テハ速ニ答メセ、唯、參戰軍組織問題ニ就テ、英米二國ノ公使ハ、是ハ延期ヲ致シテハドウカ、ラウカト云フコトヲ言フ、居ルハ、然レニ日本軍ハ、日本ノ公使ハドウ言ウテ居ルカ、前内閣ガ爲シタルガ故ニ、面目上之ヲ止メルコトガ出来ナイ、斯ノ如キ事ガ原因トナリマシテ、今日ノ不始末ヲ演ジテ居ル、是ガ實際デア、政府ガ和平統一ノ促進ヲ希望スルナラバ、既ニ前内閣ノ誤レル政策ヲ放棄シタ以上ハ、何ガ故ニ其和平統一ノ障礙トナルモノヲ、政府ハ進シテ除却シ、サウシテ和平促進ヲ計ルノ意志ハ無イデアルカ、是ハ吾々ノ質問ノ大要デアリマス、政府ハ今日マデ幾度カ機會ガゴザイマシタガ、殊ニ民意ヲ尊重セラル、所ノ政黨内閣デアアル今日ハ選舉權ヲ擴張シテ、愈、政黨ノ地盤ヲ造ラレ、ソレガ爲メニハ政黨ノ意見ヲ徹底ノ宣傳シタコト云フ所ノ内閣デアアル、然ルニ今日ニ至ルマデモ國際聯盟案ノ如キ重大ナル一或ハ其結果ガ日英同盟ニ重大ナル結果ヲ來ス、是等ニ就キマシテ安心ヲ與フル所ノ事ハセラレナイデアアル、西伯利亞出兵問題ニ於キマシテモ、亦近頃ハ何カ御考ガ變シタナカクカウカト云フコトモ聞クデアアル、又支那和平問題ニ就キマシテモ如何デアアル、自ラ確信ガアルト唱ヘテ置キナガラ、一向ノ結果カラ見マシテ出來ル政策、ソレヲ踏襲ヲ致シテ自ラ其禍ニ嵌ミ居ルデアアル、成程現内閣ハ寺内内閣ノ繼續内閣デアアル（ヒヤ）「ト呼フ者アリ」サルガ故ニ外交調査會ニ於テ（シカルガ故ニ）「ト呼フ者アリ」彼ノ誤レル政策ヲ援ケラレタル關係上、或ハ此改廢ガ急ニ出來ナイカモ知レナイ（拍手スル者アリ）併ナガラ寺内内閣ニ代シタ所ノ原内閣ハ、民意ヲ尊重スル内閣デアアル（ヒヤヒヤ）「ト呼フ者アリ」民意ヲ尊重セラル、以上ハ、支那ノ和平促進問題ニ就テハ、總テ是マデノ官僚の内閣ガヤタ所ノ總テノ誤レル政策ハ徹底ノ拋棄セラレテ、新シキ所ノ政策ヲ徹底ノ行ハレテハドウデアアルカ、吾々ガ質問スルノハ此箇條デアリマス、今日ハ遺憾ナル事ニハ、先刻申シマシタヤウニ、此責任者タル總理大臣及外務大臣ハ、先刻出席シナデ居リマセ、吾々主張ノ在ル所ヲ能ク御研究出サイマシテ、政府ハ速ニ是等ノ諸點ニ對シテ、外交上ノ經過結果、及其抱負ニ就テ國民ヲ満足セシムル所ノ明快ナル答辯ヲ與ヘラレシコトヲ、切ニ希望スル次第デアリマス

○議長（大岡育造君） 質問ニ質問ハ許サレヌ例ニナッテ居リマス

○議長（大岡育造君） 別ニ質スノ方法ヲ御執リニナルヤウニシテ、質問ニ質問ヲ許サヌ慣例ニナッテ居リマスカラ、別段ノ方法ヲ採ルコトニ...

○廣岡宇一郎君 質問者ニ質問ヲ爲ス前例ガアリマス（アリマセヌ）「ト呼フ者アリ」現ニ四十議會ノ當時ニ於キマシテ、正木君ノ質問ニ對シテ私が質問ヲシテ、正木君ガ取消シタ先例ガアリマス、故ニ質問ニ對シテ質問ハ、慣例ニ於テ許スコトヲ相當ト信ジマス、四十議會ニ於テ私が質問シテ、正木君ガ取消シタル前例ガアル

○議長（大岡育造君） 是ハ保留シテ置キマシテ、更ニ質問ノ出來ルヤウナ調ヲシタ上デ其機ヲ與ヘマス

○廣岡宇一郎君 演壇ニ於テ爲シタル質問ニ對シテ、質問ヲ爲シタル例ガアリマス（廣岡君誰ガ發言ヲ許シタルデスカ）「ト前ハ誰ニ許サレタノダ」「ト前モ誰ニ許サレタ」

○議長（大岡育造君） 御聽ヲ願ヒマス、唯今議長ノ記憶ニ依レバ、質問ニ質問ハ許サヌ例ト思ヒマスガ、併ナガラ是ハ重大ナ事デアルトシテ、議場ガ之ヲ許セバ差支ナイデアリマス、故ニ此際質問ヲ許スベキヤ否ヤヲ諸君ニ御諮リ致シマス（ノウ）「ト呼フ者アリ」許スベシトスル諸君ノ起立ヲ求メマス（拍手起ル）多數

○議長（大岡育造君） 多數ト認メマス

○議長（大岡育造君） 多數ト認メマス

○議長（大岡育造君） 多數ト認メマス

○議長（大岡育造君） 多數ト認メマス

○議長（大岡育造君） 多數ト認メマス

○議長（大岡育造君） 多數ト認メマス

○議長（大岡育造君） 質問ニ質問ハ許サレヌ例ニナッテ居リマス

○議長（大岡育造君） 別ニ質スノ方法ヲ御執リニナルヤウニシテ、質問ニ質問ヲ許サヌ慣例ニナッテ居リマスカラ、別段ノ方法ヲ採ルコトニ...

○廣岡宇一郎君 質問者ニ質問ヲ爲ス前例ガアリマス（アリマセヌ）「ト呼フ者アリ」現ニ四十議會ノ當時ニ於キマシテ、正木君ノ質問ニ對シテ私が質問ヲシテ、正木君ガ取消シタ先例ガアリマス、故ニ質問ニ對シテ質問ハ、慣例ニ於テ許スコトヲ相當ト信ジマス、四十議會ニ於テ私が質問シテ、正木君ガ取消シタル前例ガアル

○議長（大岡育造君） 是ハ保留シテ置キマシテ、更ニ質問ノ出來ルヤウナ調ヲシタ上デ其機ヲ與ヘマス

○廣岡宇一郎君 演壇ニ於テ爲シタル質問ニ對シテ、質問ヲ爲シタル例ガアリマス（廣岡君誰ガ發言ヲ許シタルデスカ）「ト前ハ誰ニ許サレタノダ」「ト前モ誰ニ許サレタ」

○議長（大岡育造君） 御聽ヲ願ヒマス、唯今議長ノ記憶ニ依レバ、質問ニ質問ハ許サヌ例ト思ヒマスガ、併ナガラ是ハ重大ナ事デアルトシテ、議場ガ之ヲ許セバ差支ナイデアリマス、故ニ此際質問ヲ許スベキヤ否ヤヲ諸君ニ御諮リ致シマス（ノウ）「ト呼フ者アリ」許スベシトスル諸君ノ起立ヲ求メマス（拍手起ル）多數

○議長（大岡育造君） 多數ト認メマス

○議長（大岡育造君） 多數ト認メマス

○議長（大岡育造君） 多數ト認メマス

○議長（大岡育造君） 多數ト認メマス

○議長（大岡育造君） 多數ト認メマス

○議長（大岡育造君） 多數ト認メマス

○議長（大岡育造君） 多數ト認メマス

シテ「之ヲ懲戒シナイノハ、是ハ何故ダト言フ」（拍手起ル）即チ事實ヲ肯定ノ決メタレバコソ、出征シテ居ル所ノ將軍ニ對シテ、懲罰シナカレバナラヌコト言フ必要ガ起ツカ、アルガ（拍手起ル）此一言ハ世界聯盟會議ノ今や當ニ開カレツ、アル場合ニ於テ、斐語流言ヲリニ飛ンデ、動モスレバ我が日本ノ不利ヲ圖ラントスル、獨探ノ行動ガ世界ニ彌蔓シテ居ル、此機會ニ於テ帝國議會ノ壇上ニ於テ、大政黨アル所ノ憲政會ガ其總務ヲシテ斯ノ如ク肯定ノ言論ヲ爲サシメタニ付テハ、必ズ確乎不拔ノ材料ヲ持テ居ルニ違ヒナイと思フ（ヒヤ）「ト呼フ者アリ」此材料ガ有ルナラバ、我々ニ對シテ必要ガ有ル、是ハ代表上諸君ノ爲メニ甚ダ必要ナ事デアリマス、苟モ一黨ヲ代表シテ、國民ノ三分ノ一ヲ代表シテ居ル所ノ憲政會ガ（ヒヤ）「ト呼フ者アリ」笑聲起ル、世界ニ如何ナル影響ノ有ルカ位ノ事ハ御承知ノ筈デアアル、此壇上ニ於テ斯ノ如キ事實有リト斷言セラレテ而シテ此懲罰問題マデモ政府ニ勸告セラレ、ニ至テハ、必ズ確ナル證據ヲ御持チナッテ居ルコト、信ジマスカラ、果シテ此確ナル證據ガ有ラバ、唯今小寺君ノ言ハレタ事ニ、吾々ハ全然同感ヲ表スルモノデアリマス（クレドモ、此一事ハ決シテ一時ノ放言トシテ看過スコトハ出來マセヌ（ヒヤ）「ト違フ違フ」ト呼フ者アリ）爰ニ小寺君ガ其材料ヲ提供シテ、我が議院ト云ハズ、滿天下ト云ハズ、此世界ニ向テ、日本ガ果シテ左様ナ事ヲシテ居ルヤ否ヤト云フ事ノ、明證ヲ與ヘラレシコトヲ希望スルデアリマス（拍手起ル）

○憲政會答辯スベシ（「答辯ノ要ナシ」答辯ハ出來ナイガラウ）「ト呼フ者アリ」

○小寺謙吉君 議長

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス——登壇ヲ希望シマス

○小寺謙吉君 議長

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス——登壇ヲ希望シマス

○小寺謙吉君 議長

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス——登壇ヲ希望シマス

○小寺謙吉君 議長

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス——登壇ヲ希望シマス

○小寺謙吉君 議長

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス——登壇ヲ希望シマス

○小寺謙吉君 議長

○議長（大岡育造君） 登壇ヲ希望シマス——登壇ヲ希望シマス

○吉植庄一郎君 唯今二回ニ於ケルト小寺君ノ御辯明ニ依リマシテ、私ハ茲ニ甚ダ遺憾ヲ感ズルモノデアリマス、到底同君ハ自ラ省ミテ改ムルノ意思ノナイコトヲ認メマシタカレ、茲ニ速記録ヲ更メテ調査シテ、而シテ更ニ此問題ニ就テ解決スル所アラシト欲スルノデアリマス、ドウゾ御賛成ヲ願ヒマス

問題トナシテ、速記録ヲ調査スルコトニナタノデアリマス、而シテ速記録ヲ檢案致シマスルト、斯様ニ書イテアリマス、前後ノ長イ所ハ除キマシテ、問題ノ中心トナタ所ダケ朗讀致

借入金ニ對スル補助金額ハ其ノ社債又ハ借入金ニ對スル益金ト社債又ハ借入金ノ利息トノ差額トス但

シ債額又ハ借入金ノ利率年七分未滿ナルトキハ其ノ利息額、七分以上ナルトキハ社債又ハ借入金ニ對シ年七分ニ相當スル額ヲ超ユルコトヲ得ス

社債又ハ借入金ニ對スル補助ノ期間ハ社債ノ登記ノ日又ハ借入金ヲ爲シタル日ヨリ起算スルコトヲ得

第四條 第一條乃至第三條ノ規定ニ依ル益金、拂込株金額及社債又ハ借入金ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ算出シタル金額ニ依ル

第五條 補助ヲ爲スヘキ輕便鐵道ハ二呎六吋以上ノ軌間ヲ有スルモノニ限ル

第六條 輕便鐵道ヲ經營スル會社ハ法令、法令ニ基キテ爲ス命令若ハ許可、補助ニ附シタル條件ニ違反シ又ハ公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ朝鮮總督ハ其ノ補助ヲ停止又ハ廢止スルコトヲ得

第七條 詐欺ニ因リテ補助金ヲ受ケタルトキハ法定ノ利息ヲ附シテ之ヲ償還セシム

前項ノ償還金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リテ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次クモノトス

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○齋藤達次君 是ヨリ豫算委員會ヲ開キマスカラ、同委員ノ御參集ヲ請ヒマス

○政府委員鈴木穆君登壇
〔政府委員鈴木穆君登壇〕
朝鮮輕便鐵道補助法案ニ就キマシテ、私ヨリ御説明申上ゲマス。鐵道ノ普及ハ朝鮮ノ開發上最モ急務ト致ス所デアリマス。財政ノ許ス限り是ガ敷設ニ努メ居ル次第デアリマス。併シ地方ノ經濟線路ノ敷設ニ付キマシテハ、寧ロ之ヲ民間ノ企業ニ依リ輕便鐵道ヲ以テ、之ヲ獎勵致スコトヲ今日ノ急務ト考ヘテ居ルノデアリマス。此趣意ヲ以テマシテ、是マデ毎年ノ豫算ニ基キマシテ、別ニ命令ヲ以テ補助ヲ致シテ居リマス。デアリマスガ、斯ノ如キ法律ノ規定ニ基カザル、單ニ命令ニ依リマシテハ、長日月ニ互ル鐵道ノ如キ事業ノ獎勵ニハ、甚ダ適當セザルコトヲ認メマシテ、今回特ニ補助法ヲ制定シマシテ、補助ノ基礎ヲ確立致シ、獎勵ノ趣旨ヲ徹底致サント云フ趣意デ、此法案ヲ提出致シマシタル次第デアリマス。ドウカ御審議ノ上、御協賛アラント望ミマス

○議長(大岡育造君) 日程第二、右議案ノ審議ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○岩崎勳君 議長
○議長(大岡育造君) 岩崎勳君
○岩崎勳君 委員ノ數ヲ二十八名トシ、議長ニ於テ指名セラレシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ、議長指名十八名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ

○岩崎勳君 議長
○議長(大岡育造君) 岩崎勳君
○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ茲ニ、北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案、政府提出第一讀會ニ、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉、三、政府提出醫師法中改正法律案、貴族院送付案デアリマス、第一讀會、四、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉、五、大正四年法律第十六號中改正法律案、第一讀會、續委員長ノ報告、六、政府提出阿片法中改正法律案、第一讀會、續委員長ノ報告、七、貴族院提出史蹟名勝天然紀念物保存法案、第一讀會、續委員長ノ報告ヲ議題ト爲シ、何レモ其審議ヲ進メラシムコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ日程ハ變更セラレテ、唯今舉ゲラレタル各箇ノ法律案及委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス、北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案ヲ議題ト致シマス、政府提出デアリマス、床次鐵道院總裁

北海道拓殖鐵道補助ニ關スル法律案 政府提出
第一讀會
北海道拓殖促進ノ爲必要アリト認ムル地方鐵道ニ對シテハ政府ハ勸令ノ定ムル所ニ依リ該鐵道營業開始ノ日ヨリ五年ヲ限リ北海道拓殖費ヨリ補助ヲ爲スコトヲ得

〔政府委員床次竹二郎君登壇〕
〔拍手越ル〕
○政府委員(床次竹二郎君) 北海道ノ拓殖ニ就テ、鐵道ノ敷設最モ大事ナル次第デアリマス、曩ニ拓殖鐵道公債利子支出ノ法律ヲ制定セラレマス、一般鐵道ノ建設計畫以外ニ於テ、拓殖鐵道速成ノ計畫ヲ立テ、今日進ミツツアル次第デアリマス。是ト共ニ地方鐵道ノ敷設ヲ獎勵致シマスルコトガ、拓殖ノ促進上、最モ必要ナル事ト考ヘマス、即チ大正四年度北海道拓殖費豫算ニ於テ、必要ナル金額ヲ計上致シテ置キマシタル次第デアリマス、此補助ハ數年ニ互テ之ヲ繼續致シタイ者デアリマスカラ、特ニ茲ニ法律ノ制定ヲ要スル次第デアリマス、ドウソ御審議ヲ願ヒマス

○議長(大岡育造君) 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○岩崎勳君 委員ノ數ヲ九名トシ、議長ニ於テ指名セラレシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガ無ケレバ岩崎勳君動議ノ如ク決シマス、醫師法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、床次内務大臣

醫師法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會
醫師法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ依テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正八年三月二十日 貴族院議長公爵德川家達

衆議院議長大岡育造君
醫師法中左ノ通改正ス
第一條中「帝國大學醫科大學醫學科ヲ」大學令ニ依ル大學ニ於テ醫學ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ル者」三改ム
第二條中第一號ヲ左ノ如ク改メ第二號ヲ削リ第三號ヲ第二號トス
一 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
第三條中「禁錮」ヲ「六年未滿ノ懲役若ハ禁錮」ニ改ム
第八條 醫師ハ勸令ノ定ムル所ニ依リ郡市區醫師會ヲ設立スヘシ
郡市區醫師會ハ勸令ノ定ムル所ニ依リ道府縣醫師會ヲ設立スヘシ
郡市區醫師會及道府縣醫師會ハ法人トス勸令ノ定ムル所ニ依リ醫事衛生ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
第九條 郡市區醫師會ハ命令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外郡市區又ハ北海道若ハ沖繩縣ノ區域トス
公私立ノ診療所若ハ治療所又ハ其ノ出張所ニ於テ診療察又ハ治療ニ從事スル醫師ハ其ノ診療所又ハ出張所ノ所在ノ地方區域トスル郡市區醫師會ノ會員トス
第九條ノ二 道府縣醫師會ハ道府縣ノ區域トス
道府縣內ニ在ル郡市區醫師會ハ其ノ道府縣ノ區域トス
道府縣醫師會ノ會員トス
第九條ノ三 前二條ニ揭クル會員ノ外郡市區醫師會又ハ道府縣醫師會ノ會員ト爲ルコトヲ得ル者ハ勸令ヲ以テ之ヲ定ム

第九條ノ四 郡市區醫師會又ハ道府縣醫師會ハ勸令ノ定ムル所ニ依リ會員ヨリ徵收スヘキ收入ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九條ノ五 前五條ヲ規定スルモノノ外郡市區醫師會及道府縣醫師會ノ設立ノ手續、機關ノ組織、經費ノ負擔、監督、會員ノ懲戒其ノ他必要ナル事項ニ關シテハ勸令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條中「第二條第一號又ハ第三號ヲ」第二條各號ノ「三」禁錮ヲ「六年未滿ノ懲役若ハ禁錮」ニ改ム
第十一條中「五百圓以下ノ罰金」ヲ「五百圓以下ノ罰金又ハ十圓以上ノ科料」ニ改ム

附則
本法施行ノ期日ハ勸令ヲ以テ之ヲ定ム
本法ノ適用ニ付テハ帝國大學醫科大學醫學科ヲ卒業シ

第九條ノ四 郡市區醫師會又ハ道府縣醫師會ハ勸令ノ定ムル所ニ依リ會員ヨリ徵收スヘキ收入ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九條ノ五 前五條ヲ規定スルモノノ外郡市區醫師會及道府縣醫師會ノ設立ノ手續、機關ノ組織、經費ノ負擔、監督、會員ノ懲戒其ノ他必要ナル事項ニ關シテハ勸令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條中「第二條第一號又ハ第三號ヲ」第二條各號ノ「三」禁錮ヲ「六年未滿ノ懲役若ハ禁錮」ニ改ム
第十一條中「五百圓以下ノ罰金」ヲ「五百圓以下ノ罰金又ハ十圓以上ノ科料」ニ改ム

附則
本法施行ノ期日ハ勸令ヲ以テ之ヲ定ム
本法ノ適用ニ付テハ帝國大學醫科大學醫學科ヲ卒業シ

第九條ノ四 郡市區醫師會又ハ道府縣醫師會ハ勸令ノ定ムル所ニ依リ會員ヨリ徵收スヘキ收入ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九條ノ五 前五條ヲ規定スルモノノ外郡市區醫師會及道府縣醫師會ノ設立ノ手續、機關ノ組織、經費ノ負擔、監督、會員ノ懲戒其ノ他必要ナル事項ニ關シテハ勸令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條中「第二條第一號又ハ第三號ヲ」第二條各號ノ「三」禁錮ヲ「六年未滿ノ懲役若ハ禁錮」ニ改ム
第十一條中「五百圓以下ノ罰金」ヲ「五百圓以下ノ罰金又ハ十圓以上ノ科料」ニ改ム

附則
本法施行ノ期日ハ勸令ヲ以テ之ヲ定ム
本法ノ適用ニ付テハ帝國大學醫科大學醫學科ヲ卒業シ

第九條ノ四 郡市區醫師會又ハ道府縣醫師會ハ勸令ノ定ムル所ニ依リ會員ヨリ徵收スヘキ收入ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九條ノ五 前五條ヲ規定スルモノノ外郡市區醫師會及道府縣醫師會ノ設立ノ手續、機關ノ組織、經費ノ負擔、監督、會員ノ懲戒其ノ他必要ナル事項ニ關シテハ勸令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條中「第二條第一號又ハ第三號ヲ」第二條各號ノ「三」禁錮ヲ「六年未滿ノ懲役若ハ禁錮」ニ改ム
第十一條中「五百圓以下ノ罰金」ヲ「五百圓以下ノ罰金又ハ十圓以上ノ科料」ニ改ム

本法ノ適用ニ付テハ明治十三年第三十六號布告刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ同法ノ禁錮ニ處セラレタル者ハ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル者ト看做ス
本法施行ノ際現ニ存スル醫師會ハ本法施行ノ日ヨリ六月内仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

「拍手走川」

○國務大臣(床次竹二郎君) 此法案ハ前回本院ニ提出セラレテ而シテ可決ニナク法案デゴザイマス、其大體ヲ取りマシタモノデアリマシテ、即チ醫師會ハ之ヲ設置スベシ、醫師會ハ法人トスル、大體右様ナ事デアリマシテ、貴族院ニ於キマシテ、第九條ノ三ノ所ニ於テ修正アリ加ヘラレタノデアリマススケレドモ、何等差支無イ箇條デアリマスカラ、政府ハ大體之ニ同意致シタ次第デアリマス、前ニ申上ゲル如ク、大體本院ニ於テ既ニ可決ニナク法案デゴザイマスルデ、宜シク御賛成ヲ願ヒマス

○議長(大岡有造君) 右議案ノ審案ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○岩崎勳君 議長
○議長(大岡育造君) 岩崎勳君

○岩崎勳君 本案ハ福井三郎君外七名提出、醫師法中
改正法律案ノ委員ニ併セテ付託セラレシコトヲ望ミマス
○議長(大岡育造君) 御異議アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 御異議が無ケレバ動議ノ如ク決シマシタ——大正四年法律第十六號中改正法律案ノ第一讀會ノ續キヲ開キマス、委員長松浦五兵衛君

大正四年法律第十六號中改正法律案（政府提出）
第一讀會ノ續（委員長報告）（確定議）

〔松浦五兵衛君登壇〕
〔拍手起ル〕

○松浦五兵衛君 大正四年法律第十六號ノ改正案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上ゲマス、本二改ムト云フ、法律中ニ二千四百方圓ヲ「五千四百萬圓」ニ改ムト云フ、洵ニ簡單ナル文句デアリマス、其内容ハ相當注意ヲ要スベキ事ガアリマスカラ、委員會ハ三回ニ亘テ開會致シマシテ、種々質問應答、竝ニ政府ノ説明ヲ受ケマシテ、其結果總テ原案ヲ相當ナルモノトシテ、之ヲ是認スルコトニ決シマシタ、而シテ其委員會申上ゲル必要ガ點中、内容ヲ明ニシタ點ニ就テ御報告申上ゲル必要ガ點ハ信ジマス、本案ハ大正三年ノ臨時事件費ノ論功行賞ニ使用スル公債ノ募集案デアリマシテ、疑ニ法律ニ依テ二千四百萬圓ガ決定サレテ居リマスガ、其後西伯利出兵、及海軍戰線ノ擴

官報號外
大正八年三月二十一日

衆議院議事

速記錄第二十六號

右付託委員ノ選舉 大正四年法律第

六號中改正法律案 第一讀會ノ續(確定議) 四四二五

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

1

張等ニ依リマシテ、非常ニ多數ノ軍隊ヲ動かシタガ爲メニ
一層論功行賞賜金ノ増額ヲ要スルコトニ相成リマシテ、其
結果更ニ三千万圓ノ増加ヲ要スルコトデアリマス、曩ニ決議
サレタアリマス所ノ一千四百萬圓ニ付テハ、既ニ島ノ戰
争ニ對スル所ノ論功行賞、又ソレニ關聯シタ所ノ行賞ニ依
リマシテ、最早一千七百萬圓ヲ支出シテアルト云フコトデ
アリマス、尙ホ他ニ三百万圓内外ノ支出スベキモノガアリマ
スカラ、唯今殘ル所ノモノハ四百萬圓ニ過ぎヌト云フコトデ
アリマス、然ルニ海軍及陸軍ノ其後ノ動員ニ依リマシテ、今
回更ニ論功行賞致スベキ所ノモノハ、約三千四百萬圓要
スルト云フコトデアリマス、陸軍ニ於テハ十五萬人、其金額
ガ二千九百六十萬餘圓、海軍ニ於テハ一万九千人、其金額
ガ四百三十五萬餘圓ト云フヤウナ譯ニ相成リマシテ、此
人員及金額等ニ付テモ、委員會ハ慎重ニ質問シ調査シタ
デアリマスガ、總テ最モ適當ナルモノト信ジタノデアリマス、
斯ノ如クシテ今日法律ノ改正ニ依テ要求スル所ノ、三千
萬圓ノ公債ヲ募集スルト云フコトハ、最モ目下ニ於ケル所
ノ必要ノ事デアルト認メマシテ、委員會ハ全會一致ヲ以テ
之ヲ可決シマシタ、願クハ本會ニ於テモ、全會一致ヲ以テ
可決セラレンコトヲ希望致シマス（拍手起ル）

○岩崎勳君 本案ハ議會ノ順序ヲ省略シテ、委員長報
告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長（大岡有造君） 勳議ニ御異議ハアリマセヌカ

○議長（大岡育造君）御異議無クバ、賛會ノ、頂立

略シテ、可決確定シタル事ヲ宣告致シマス——阿片法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス——委員長大口喜六君

阿片法中改正法律案(政府提出)

〔大口喜六君登壇〕
〔拍手起立〕
第一讀會／續（委員長報告）

、並ニ結果ノ御報告ヲ致シマス、委員會ハ去ル十四
員長及理事ノ選舉ヲ行ヒマシテ、引續キ會議ヲ開キ

シタガ、爾來開會致シマスルコトガ五回デアリマシテ、其間
内務大臣ヲ首メ、各關係政府委員ノ出席ヲ求メマシテ、質
問應答ヲ重ネシタガ、極メテ慎重ニ審議ヲ致シタ考デア
リマス、殊ニ此問題ハ、一面ニ於キマシテハ、醫藥上極メテ
必要デアリマス所ノ阿片ノ取締ニ關スル問題デアリマス
ルシ、一面ニ於キマシテハ、又人類ヲシテ極メテ悲惨ナル境
遇ニ陥ラシムル所ノ阿片煙ノ取締ニ密接ノ關係ヲ有シテ
居リマスル次第デアリマスル故ニ、其結果ハ延テ外國ノ
關係ヲモ生ズルノデアリマス、其爲メニ外務省ノ當局者ニモ
出席ヲ求メマシテ、又臺灣ニ就キマシテハ、調査ヲ進メマ
シタ次第デアリマス、其臺灣ニ於ケル阿片政策ト云フモノニ
對シテモ、極メテ密接ナル關係ヲ有スル事デアリマスルコト
ハ既ニ諸君ガ御承知ノ如クデアリマス、ソレ故ニ臺灣ニ關
係ヲ有テ居ラルル所ノ政府委員ニモ出席ヲ求メマシテ、或

場合ハ之ヲ秘密會ト致シマシテ、詳細ニ質問ヲ致シタル
デアリマス、尙ホ本案ノ罰則ニ付キマシテ、刑法ノ第十四章
ニ掲載サレテ居リマス所ノ阿片煙ニ關スル罰則ト、極メテ
深キ關係ヨ有シテ居ルコトデアリマスル故ニ、此點ニ就キマ
シテモ司法省ノ當局者ノ出席ヲ煩シマシテ、相當ノ研究ヲ
致シテ考デアリマス、斯ノ如ク質問應答ヲ續クマシテ、色
研究ヲ致シテ結果本委員會ニ於キマシテハ、滿場一致ヲ
以テ本案ニ修正ヲ加ヘマシテ、修正以外ノ箇所ハ、原案ヨ
是ナリト認メマシテ、決シテ次第デアリマス、ソレ故ニ此際
先ヅ此修正ヲ致シマシタ箇所カラ説明ヲ致シタイト思フ、
デアリマス、即チ修正ヲ致シマシタ箇所ハ三箇所デアリマ
ス、其第一ハ、第六條中ニ政府カラ出サレマシタ原案ニ「製
藥者醫藥用阿片ヲ要スルキハ」トアリマス其下ヘ「命令ニ
別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外」此十七字ヲ加ヘルノデア
リマス、其理由ハドウ云フ譯カト云ヒマス、今回ノ改正ニ
依テ阿片ノ賣買授受ニ關スル取締ト云フモノハ、頗ル嚴
重ナルノデアリマスガ、其結果ト致シマシテ、醫師、齒科
醫師、獸醫、藥劑師ト云フガ如キモノ、一々行政官廳ノ證
明ヲ受クルデナクテ、醫藥用ニ使フ所ノ阿片ノ購入ヲモ
絕對ニ爲スコトガ出来ナイ、斯ウ云フ事ニナルノデアリマ
ス、ソレハ頗ル困難ナル事情ヲ生ズルデアラウト云フ所カラシ
テ或ル一定ノ量ヲ限リマシテ、取締リ得ル範圍内ニ於テハ、其
等醫藥用ニ對シ、醫藥用ニ要スル所ノ阿片ノ購入方ハ簡便
易ニ致シタラ宜カラウ、即チ自ラ自己ノ資格ヲ證明シテ、醫
師デアルトカ、藥劑師デアルトカ云フコトノ證明ヲ致シマシ
テ、直チニ買入ルコトガ出來ルヤウニスルノガ適當デア
ラウ、併シ又餘リ寬大ニ失シテ來ルヤウニスルノガ適當
事ガアリマシテハナリマセヌカラ、其邊上ニ支障ヲ生ズル
事ガアリマシテハ勿論政府モ此點ニハ同意ヲ表サレマシ
テ、相當ニ命令ニ依テ之ヲ規定メラレラウニ致シ
タ、勿論政府モ此點ニハ同意ヲ表サレマシテ、相當ニ命
令ニ依テ之ヲ規定メヤウ、斯ウ云フコトデアリマス爲
メニ、唯今申述ヘマシタ通りノ修正ヲ加ヘルコトニナ
タノデアリマス、ソレカラ第二ノ修正ハ第九條デア
リマシタ、第九條中ニ「阿片ヲ輸入スル者ノ罰則前項
ニ同シト」云フ箇條アリマシタ、其理由ハ序ナガラ申
上ゲマシタガ、即チ原案ニ於キマシテ、阿片ノ輸出者
又ハ無許可デアリマシタ者ノ制裁ト云フモノガアリ
マシタケレドモ、阿片ヲ輸入スル者ニ對シテノ制裁ト
云フモノガ、何等記載シテ無クデアリマス、之ニ關
シテ一寸説明シマセヌト分リマセヌガ、從來阿片
煙ニ關シタルモノハ、概令其現物ガマダ生阿片デア
リマシテモ、生ノ阿片デス、生ノ阿片ノ狀態デア
リマシテモ其生ノ阿片ヲ輸入スル所ノ經過ガ、阿
片煙ニ關スルモノナラウ有テ居リマスル場合ハ、矢
張刑法ノ第十四章ニ依リマシテ處罰スルモノナ
ラウト考ヘテ居タノデアリマス、然ルニ本年ノ三月
十一日、ツイ此間ノ事デアリマシタガ去三月十一
日ニナリマシテ、初メテ大審院ニ於テ新タル判決例
ガ現レタノデアリマス、其判決例ニ依リマシタ、概令
其意思ハ、心ハ阿片煙ト爲ヌ考フ以テ輸入スル

(九)

